



大嶽山交流広場までの道のりを、手をつないで仲良く歩きます

南方小学校では、1年生から6年生が一つの班を作り、さまざまな活動に取り組む「縦割り活動」

縦割り活動

協力し取り組み絆強める

南方小学校では、1年生から6年生が一つの班を作り、さまざまな活動に取り組む「縦割り活動」

シートを広げてお弁当を食べます。学年に関係なくおしゃべりをしながら食べるお弁当は、いつもよりおいしく感じます。

大嶽山交流広場では、6年生が中心となって自然豊かな広い敷地を散策したり、思いっきり体を動かして遊んだりします。お昼には、班ごとに

編集委員 伊藤藍織、上野夏姫、遠藤美優、後藤高輝、佐々木開地(6年) 指導教諭 佐藤光史、千葉克憲

南方小

学校名 登米市立南方小学校
所在地 登米市南方町山成95の6
電話 0220(58)2019
校長 鈴木 勉
児童 181人



自慢の大嶽太鼓

南方小では、4年生になると「南小大嶽太鼓」の練習に取り組めます。南小大嶽太鼓は地域のお祭りや行事で発表し、いつも大きな拍手をいただきほめられるので、南方小の自慢の一つです。



今回は 成田小(富谷市) 飯野川小(石巻市)



高屋小

学校名 亘理町立高屋小学校
所在地 亘理町逢隈高屋保戸原54
電話 0223(34)1756
校長 荒明 聖
児童 65人



祭りで地域交流

高屋小では毎年11月に「交流まつり」という行事があります。2年生から6年生までが、お化け屋敷やボウリングなどいろいろなお店を出して遊びます。



学校のシンボルだったヒマラヤシーダー

高屋小学校には、大切な校木「ヒマラヤシーダー」が、とても昔から校庭に立っていました。高

編集委員 岩佐紀季、佐藤真理恵、小野峻矢、高野翼、鹿又晃、竹沢美緒、齋真優、針生心優、齋藤千恵美、向坂璃久斗、齋藤直哉、吉田暖、高橋花音(6年) 指導教諭 田崎源人



守ってくれた高屋小のシンボルでした。もともとは2本立っていましたが、落雷で1本倒れ、もう1本も東日本大震災の津波による塩害で弱り、いつ倒れてくるか分からない状態となったため、切られることになりました。

今は一昨年に植樹した2代目ヒマラヤシーダーが、私たちを見守ってくれています。この木も大きく高い木になって、高屋小のシンボルになるといいなと思います。

校木と別れ

思い出いっぱい伐採に涙

た。みんなの心の中に、ヒマラヤシーダーはずっと残り続けると思います。